

やま 会報 ぶら



リフレッシュパーク豊浦



第1回本部研修会 GPS



第45回中国ブロック協議会 会員表彰



下関支部研修会
測地成果2000ソフト・マニュアル



第55回定時総会 質問中



山口県土地家屋調査士会



No.82 - 2002

9

CONTENTS

報告事項

第55回定時総会の報告	総務部長 吉田 多里	1
第45回中国ブロック協議会定例総会の報告	総務部長 吉田 多里	2

ブロック協議会に招かれて	会長 瀬口 潤二	3
岩国支部定時総会報告	岩国支部長 浦井 義明	4
6.14日本勝利に沸いた徳山支部総会	徳山支部長 戸倉 茂雄	5
防府支部総会とその後	防府支部長 山本三喜夫	6
山口支部総会開催について	山口支部長 大田謙一郎	8
平成14年度支部総会について	萩支部長 片山修一郎	8

第55回宇部支部定時総会について	宇部副支部長 西野 誠二	9
------------------	--------------	---

下関支部平成14年度定時総会報告	下関支部理事 大田 浩治	10
------------------	--------------	----

平成14年度第1回本部研修会の報告	業務部長 大森 正秀	11
-------------------	------------	----

平成14年度下関支部第1回研修会実施報告	企画委員 清水 浩二	12
----------------------	------------	----

山口法律関連士業ネットワーク定期大会について	広報部長 渡邊満洲生	13
------------------------	------------	----

境界鑑定委員会が活動を開始	広報部長 渡邊満洲生	14
---------------	------------	----

役員推薦委員会の報告	広報部長 渡邊満洲生	14
囲碁大会の報告	山口支部 渡邊満洲生	15

会員の作るページ

私の旅のスケッチ「ニューカレドニアの島」	萩支部 廣石 勝	16
----------------------	----------	----

個人の正義は大局のまえでは抹殺される	岩国支部 中島 順一	17
--------------------	------------	----

事務局だより

会員異動状況	19
会務報告	20

広報部からのお知らせ	22
------------	----

第55回定時総会 の報告

総務部長 吉田多里

平成14年度山口土地家屋調査士の定時総会が山口地方法務局長をはじめ多数の来賓を迎え下記の通り開催されました。

1. 日 時 平成14年 5月24日(金)
午前10:30～
2. 場 所 山口市惣太夫町1番15号
「ぱるるプラザ山口」
3. 出席者(会員総数 262名)
出席会員 100名
委任状出席 93名
4. 議 案
 - 第1号議案(1) 平成13年度一般会計収支決算報告承認の件
(2) 平成13年度特別会計収支決算報告承認の件
上記監査報告
 - 第2号議案(1) 平成14年度事業計画(案) 審議の件
 - 第3号議案(1) 平成14年度一般会計収支予算(案) 審議の件
(2) 平成14年度特別会計収支予算(案) 審議の件
5. 議 事

第1号議案、第2号議案、第3号議案全て執行部の提案通り承認可決された。

本年度は有馬厚彦先生による特別講演会や出席会員に昼食及び、記念品を用意し出席会員増加策を計りましたが、はじめての事でもあり思うような成果が得られませんでした。来年度以降も新しい企画により出席会員増加策を行いたいと思います。



議長・副議長選出



新入会員紹介



講師 有馬厚彦先生

第45回中国ブロック協議会定例総会の報告

総務部長 吉田多里

平成14年度中国ブロック協議会定例総会が下記の通り開催されました。

1. 日 時 第1日 平成14年7月4日(木)
 13:30~17:00
 第2日 平成14年7月5日(金)
 9:00~11:00
2. 場 所 山口県小郡町 山口グランドホテル
3. 議 案 (1) 平成13年度会務報告
 (2) 平成13年度決算報告書承認の件
 上記監査報告
 (3) 平成14年度事業計画(案)審議の件
 (4) 平成14年度収支予算書(案)審議の件
 (5) 日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協会諸規程集の改訂について
4. 議 事 第1号議案から第5号議案全て執行部の提案通り承認可決されました。

今回、初めて山口会が引き受け2日間に渡り構成員、オブザーバー皆様には熱心に協議していただき、また、分科会を中止し趣向を変え、福井大海先生の講話を聴くという企画で行われました。



ブロック協議会に招かれて

中国ブロック協議会会長 瀬口潤二

九州ブロック協議会は、6月7日、8日の両日に開催されました。今年は、沖縄会が、担当会で、いろんな会議も沖縄で開催されるとのことでした。

九州ブロックは、8会で構成されていますが、海を越えての会運営は大変だと感じました。また、各会とも交通網が整備されてきたとは言え、単位会を超えた交流には制約があるように感じました。



九州ブロック協議会

今年は、沖縄の本土復帰30周年という年でもあり、30年前の社会状況を振り返りながらの、発言がたくさんありました。

近畿ブロック協議会は、7月26日、27日の両日に開催されました。



近畿ブロック協議会

担当は滋賀会で、担当会の文化的香りを感じる総会でした。近畿ブロックは、6会で構成されていますが、大阪・京都を中心とした交通網は、一つの近畿経済圏を形成していますので、研修会の開催は、単位会をこえて開催が可能で、交流も盛んだとのことでした。

土地家屋調査士法の改正を巡り今後予測される事態をどう乗り切っていくのか、真剣な発言が行われていました。

中国ブロックを代表して、発言の機会もいただき、いろんな意味でよい経験となりました。

平成14年8月21日

文責 瀬口潤二(中国ブロック協議会会長)

岩国支部定時総会報告

岩国支部長 浦井義明

山口県土地家屋調査士会岩国支部総会は、平成14年6月8日(土)午前10時から翌日の9日(日)にかけて、玖珂郡由宇町の山口県青少年交流施設「山口県ふれあいパーク」に於いて、会員総数45名のうち40名(委任状出席15名)の出席をもって開催された。

「山口県ふれあいパーク」は、標高540mの銭壺山の山頂にあり、瀬戸内海の美しい景色を眼下に望み、四季折々の豊かな自然の変化に包まれたすばらしい環境にある、家族のふれあいを深める事を願って設立された青少年教育施設である。

8日午前10時より12時までの支部総会では、西本聡士副会長の出席をあおぎ、会長からの「土地家屋調査士法改正に伴う今後の会務運営に会員全員の絶大な協力が必要なこと」の代読メッセージがあった。

また、支部総会議案の業務報告、決算報告

並びに次年度の事業計画については、本部総会には見られない、一言一句について出席会員全員が詳細に討議、協議した。

昼食後の午後1時から夕刻まで、岩国支部研修会を行った。

1部は、渋瀬清治会員を講師にして「トラバ観測に“ああ勘違い”」と題して熱心に討議、討論が行われた。

2部は、下関支部の高田吉雄相談役を講師にして「共同作業における課題の克服」と題して、下関地区で共同業務を行った実例の問題点と今後の課題の詳細な説明が行われた。

午後5時に研修会を終え、6時から夕食では、日常業務で各会員が抱えている悩みや懸念事項について、総会や研修会とは違った雰囲気の中で談笑しながら懇親と連帯感を深めた。



6.14 日本勝利に沸いた徳山支部総会!!

徳山支部長 戸倉茂雄

平成14年6月14日、徳山市内のホテルにおいて平成14年度の定時総会を開催しました。

開会の辞、支部長挨拶、表彰に続き、山根副会長の来賓祝辞などセレモニー終了後、議事に入りました。今回の議長は藤井昇二会員、副議長は乗川慎二会員でした。

1号議案から4号議案まで、滞りなく議事を終えることができました。

徳山支部会員のみなさん、お疲れ様でした。改めまして御礼申し上げます。

当日は、ワールドカップの日本対チュニジアの試合がありました。

総会終了後、司法書士会徳山支部との合同懇親会までの待ち時間、ホテルの1室でテレビ観戦をされた会員も数名おられました。

夕刻から催された恒例の土地家屋調査士会徳山支部、司法書士会徳山支部合同の懇親会では、日本代表ワールドカップ予選突破の話でもちきりでした。ホテルの窓から見える徳山湾が夕陽に染まりとても素敵でした。



支部長挨拶



山根副会長の来賓挨拶



徳山支部会員

防府支部総会とその後

防府支部長 山本三喜夫

1. 当支部は、萩支部に次いで少人数の小ぢんまりした構成となっており、そのせいかどうかは不明であるが、ここ数年はゴールデンウィーク直前の金曜日に定時総会を開催するのが恒例となっている。

本年も4月26日に司法書士会と時間を前後して、午後4時から宮市町の割烹料理店「田中屋」にて、法務局防府支局の藤井支局長、本会からは瀬口会長を来賓としてお迎えしての開催となった。

今回は久々に新入会員が2名あり、会員総数22名中出席会員19名、委任状提出者3名と小規模支部らしく、ほとんどの会員の参加が得られたことは、何よりありがたいことであった。

2. 瀬口会長は、冒頭挨拶の中で、「規制緩和・司法制度改革等の改革の波は、我々の業界にも容赦なく押し寄せ、土地家屋調査士法改正にも見受けられるとおり、我々は今、土地家屋調査士という資格そのものの社会的有用性・存在価値を国民各層から問われているのであり、だからこそ自らを律し、これに応える姿勢が組織としての調査士会にも、個々の会員にも激しく求められている。」旨を述べられたが、このような挨拶の直後に貧弱な活動内容を事業報告としてするには、かなりの勇気が必要であっ

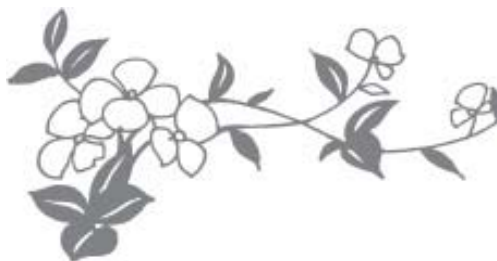
た。

3. 質疑応答では、活動の質を問い、費用対効果の観点を忘れずに事業遂行する様求める発言が目立ったが、これも会員各位の経営環境や支部会計の厳しさが、その背景にあるものと思う。

今後の活動においては、こうした会員の視線を意識して、効果的な事業執行に努めなければとの思いを新たにした次第である。

4. 事業計画においては、昨年度の研修が測量実務に関するもの（GPS測量の実演や公共座標を用いた測量の実践をテーマにした）ばかりで、内容が片寄っていた点を反省し、本年度は、調査士業に求められる法知識の取得や地図と境界確認に関するもの（当市管内の17条地図はその作製作業過程に多くの問題を内包しているの）さらには一般教養を深める研修等も織り込み、バランスの取れたものとするつもりである。

5. 総会で承認された事業計画を早速実行すべく、6月には、一般教養を深める研修として「県央部中核都市建設に向けての合併問題」をテーマに防府市企画課に新設された合併推進室の協力を得て、初回の研修会を開催した。



市町村の合併問題は、今全国各地で盛んに論議されている問題であり、また我々の業務は自治体の都市計画事業と極めて深い係わりをもっているわけで、一市民としてばかりでなく、将来の我々の業務にも大きな影響がある問題であるから、合併を受け入れるにしても、これを拒否するにしても、無関心ではいられない事柄だと思い、研修テーマに選んだものである。

講師（合併推進室のスタッフ）から、合併の必要性や、現時点で検討されている合併対象自治体・そのタイムスケジュール・合併特例法・法定協議会等々について膨大な資料と説明を受けた後、質疑を交わしたが、「いずれにしても市民生活に大変大きな影響を与える問題であるから、市民の総意に基づいて決定すべき事柄であり、議論の成熟を待って、その意向を確認する機会を必ず持って欲しい」との注文を付けおいた。

合併に関する議論は、極めて政治性の強い問題が多いので、支部活動として取り組むべき事業ではないと思うが、少なくともそこから派生する様々な問題について、高度な知識と適格な判断力を身につけておくべきで、総論賛成・各論反対といったあり

きたりな議論に終始しては、土地家屋調査士の名がすたる。

一市民として議論の輪に加わり、自らの見識を披露し、他人の意見に耳を傾けて、自分なりの結論を導き出す努力をすべきである。この問題は、「自らと自分の住む町の現状と将来を考える絶好の機会だ」ということだけは確かだと思っている。

6．昨年度から宿題として預かっていた月例の相談会の開催は、我々の業務の重要性と、何よりも土地家屋調査士という土地の境界問題に関するプロ集団がいるということを広く一般市民の方々に知ってもらう機会と捕えて、本年度から実施することにした。

ただ、その広報活動にはかなりのエネルギーが必要で、乏しい支部予算を考慮して、市広報等無料で広報できるものを探しているが、合併問題などの特集記事が山積していて、仲々当方の要望は聞いてもらえない。現在のところ1回4～5万円する商業広告紙に記事を掲載してもらっているが、相談者が2～3名では、それこそ「費用対効果の点から問題あり」との会員の声が聞こえてきそうである。無い知恵を絞って、効率の良い広報手段を模索中である。



山口支部総会開催について

山口支部長 大田謙一郎

- 1.日 時 平成14年6月15日(土)午前11時～12時
- 2.場 所 山口県土地家屋調査士会館 3F 会議室
- 3.来 賓 山口地方法務局長代理
河合統括登記官 殿
山口県土地家屋調査士会会長
瀬口 潤二 殿
山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会理事長代理
下野副理事長 殿
山口県司法書士会会長
下瀬 豊晴 殿
山口県公共嘱託登記司法書士協会理事長代理 山野副理事長 殿
日本司法書士政治連盟山口県会会長 長岡 正興 殿

毎年、土地家屋調査士会山口支部と司法書士会山口支部は同日に午前11時を境にして両支部が各々同一会場で総会を開催する。午前11時に両支部合同の来賓祝辞が行われる。

総会は事業報告、収支決算書の承認、事業計画案、収支予算案の承認、本部役員推薦委員選任が議決された。

本年は改正土地家屋調査士法の施行を来年に控えて、報酬や法人化の問題、世界測地系への移行への対応等が、本会、支部共に研修の課題である。

尚、毎年秋に行われる一泊二日の両支部合同の研修旅行のコース案について可決され、本年は伊予松山方面となった。

平成14年度支部総会について

萩支部長 片山修一郎

「平成14年度支部総会を行います」との副支部長の言葉に初めての支部総会を乗り切る為、どうしたらよいか判らずオタオタして始まりました。

実は監査の時に記帳の仕方に注文を付けられ、訂正を余儀なくされ、一度訂正すると、色々と考えてしまい、それについての会員報告もあやふやになり、質問が出たらどうしようと思い、総会前の2週間は、難儀な数日であった。何とか監査報告が済み、承認を頂いた時は、安心した。今年度はもう少し気合を

入れてがんばりますのでよろしく願います。

今年度の研修会として、ワード、エクセルを使いこなすため、初歩の初歩を、外部講師を招き、非常にゆっくりと習って行き、全員、インターネットが出来るようにならばいいと思います。又、広報活動として、数年前に、9月1日杭の日に、新聞の折込みを入れたが、あまり効果がないので、萩、長門で看板を立て杭の日の宣伝をしたいと思います。

第55回宇部支部定時総会について

宇部副支部長 西野誠二

平成14年6月14日(金)宇部全日空ホテルにおいて石田正勝山口地方法務局宇部支局長、瀬口潤二山口県土地家屋調査士会会長及び水津久太郎山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会理事長の来賓の出席のもとに支部総会が開催されました。

当日は、サッカーワールドカップの日本の決勝トーナメント進出を賭けた対チュニジア戦が行われており、遅刻してきた(テレビ中継を完全に見たため?)S会員から日本の決勝トーナメント進出が決まったとのうれしい報告がされました。

議事については、平成13年度事業報告並びに収支決算報告は原案通り承認されました。平成14年度事業計画案及び収支予算案につい

ては、「測地成果2000」及び「事務所法人化のメリット・デメリット」について研修をしてほしいとの要望があり、又「表示登記の日」「杭の日」の無料相談会については、広告等に予算を充てて「土地家屋調査士」のPRをすべきであるとの意見が出され、予算案を一部修正のうえ承認されました。残る議案も可決承認され、総会は終了しました。

懇親会は、恒例のとおり司法書士会宇部支部と合同で、宇部全日空ホテル15階「特別室」において開催されました。

ホテル最上階からの市内の夕景を望みながら、普段はなかなか話し合うことの少ない両会の会員が年に一度のこの機会に多いに語り合い親睦を深め、盛会のうちに終了しました。



下関支部平成14年度定時総会報告

下関支部理事 大田浩治

下関支部の総会が6月8日土曜日、例年どおり司法書士会下関支部と合同で下関市赤間町の東京第一ホテル下関で開催されました。今年は調査士会単独の支部総会が先行して午後3時から開かれました。下野洋二支部長の挨拶の後、宮崎幸三議長の進行のもとに第1号議案の平成13年度事業報告・収支決算報告承認の件、第2号議案の平成14年度事業計画案・収支予算案承認の件がとどこおりなく審議され承認可決されました。

中でも今回は、下関最大の真夏のイベントとも言える「馬関まつり」において焼きソバ、生ビール等の出店をするとともに、土地家屋調査士業務に関するリーフレットなどを配布するPR活動を平成13年度に初めておこなったことについて清水浩二企画委員長が報告。併せて、このPR活動を支部全体が取り組む活動としてとらえ積極的な参加協力が呼びかけられました。

議場から馬関まつりでのPR活動に参加した会員に日当を出してはどうか、などとねざらう声があり昨年参加した会員や企画委員にとってはたいへん心強く感じられたことと思われれます。

決算報告では「馬関まつり出店キャンペーン特別会計」として収支報告をしましたが、実際はその収支報告の数字という形に表れてはいない事前アドバイスの数々、前日の予行演習の場所提供、また当日、参加者への駐車場提供、水道使用など、出店のテントに入らなかった会員からも多大なサポートをいただいていたことも特記したいと思います。

今年は役員選任委員の改選が行われ、勇退

された中原範雄会員に替わって溝口保二会員、前任の福田真一会員、米原茂樹会員の3人の支部長経験者が圧倒的多数で選任されました。

午後4時からの司法書士会下関支部総会を経て午後5時から、江島潔下関市長、司法書士会下瀬豊晴会長代理の竹田健治理事、本会の瀬口潤二会長代理の三好一敏副会長、公証人の中村俊彦様、その他関係団体の下関支部長様を来賓にお迎えして両支部合同による総会が行われました。

表彰行事では、5月24日開催された本会の総会で表彰された会員の紹介と下関支部慶弔規定により「20年以上会員として引き続き業務に従事し70歳を超えた」会員である高橋清行会員と無敵栄介会員に下野支部長より記念品が贈呈されました。

江島市長はじめご来賓から祝辞をいただいたのに続き、来賓紹介、祝電披露、そして、両支部の会員異動の報告と新入会員の紹介が行われました。今年1月に竹下治会員、2月に楠木梨絵会員が入会、さらに5月に竹田順一会員の入会により調査士専業者、司法書士との兼業者の合計会員数は総会当日現在56名になったことが報告されました。

その後の両支部による懇親会では、挨拶に立った人が翌日に控えていたサッカーのW杯日本ロシア戦を観戦しましょう、と呼びかけるなど和やかな歓談の場となりました。

平成14年度第1回本部研修会の報告

業務部長 大森正秀



島 賢士講師

平成14年4月1日施行の測量法及び測量法施行令の一部改正に伴い、表示に関する登記の測量につきましても公共座標で地積測量図を提出する場合は世界測地系に基づく測量の基準に従って実施されることとなりました。

今回会員からの要望もあり下記のとおり研修会を行ないました。

日時：平成14年8月2日(金)
午後1時30分～午後4時40分
場所：山口県土地家屋調査士会館

講師：株式会社ソキア中国
島 賢士 殿

内容 『測地成果2000と最新測量事情』
及び RTK GPS デモンストレーション

- 1 世界的な動向
 - ・航空関係施設の位置表示は世界測地への対応済み
 - ・各種国際機構の世界測地の採用を奨励
 - ・北米、欧州各国など世界測地系の採用
 - ・アジア、太平洋地域、インドネシア、豪州などが採用を決定
- 2 日本測地系の現状、問題点
 - ・明治以降三角網で全国を測量した。
 - ・GPSによる測量の結果と比較すると、現行の現地基準点成果は、東京から見て例えば約1000km離れた札幌の位置が西へ約9mずれ、約900km離れた福岡の位置が南へ約4mずれていることがわかっていく。
 - ・国家基準点の歪みにより、測量結果の併合が悪くなり、作業効率が落ちる。
 - ・国家基準点の精度が現在の高精度測量機器に対応していないため、高精度の測量

- 結果がいかされない。
- 3 世界測地への座標変換方法
 - ①既設基準点の改測
 - ②旧観測値を用いた改算
 - ③座標変換プログラム(TKY 2 JGD)の利用
 - ④地域変換パラメータ
 - 4 紙地図等の図郭座標変換
 - ①図郭四隅及び方眼線等の座標修正
 - ②図郭四隅の座標及び方眼線の位置修正
 - ③図郭割を変更
 - 5 測地成果2000の効果
 - ・科学的により合理性のある位置の表示
 - ・GPSによる緯度・軽度の直接利用
= 容易なGISの構築
 - ・航海・航空の安全性の向上
 - ・世界規格の標準的なGPS製品の日本での直接利用
 - ・世界測地系普及の促進
= 国際標準化への貢献

受講後の感想

GPS(汎地球測位システム)及びGIS(地理情報システム)というコンピューターシステムによる位置情報の測定・利用技術が出現し我々多くの会員もGPSを使って測量を行なっておりますし、今後急速な普及が見込まれています。表示に関する登記の測量につきましても測量の高精度化及びデータの共有化は避けて通れない状況のようです。(研修参加者 会員79名、補助者5名)



会館駐車場にてGPS研修

平成14年度下関支部第1回研修会実施報告

企画委員 清水浩二

平成14年5月25日(土)、下関市長府扇町の下関勤労者総合福祉センター(アクティブセンター)OA研修室において、第1回研修会として、「測地成果2000変換ソフトの説明会」を行いました。

講師は大田浩治会員にお願いし、出席者41名の高出席率での研修会となりました。測地成果2000変換ソフトの説明会は前回(平成14年3月30日)にも行いましたが、「マニュアル」を作ってくれないかとの要望もあり、大

田浩治会員に変換ソフト・マニュアルの作成をお願い致しました。

当初は14時から16時まで2時間の予定でしたが、研修室にパソコンが20台しか設置されておらず、各自でパソコンを操作していただきかった為に、A班・B班に分けて行いました。

最後になりましたが、変換ソフトの作成及び講師を快く引受けてくださった大田浩治会員にお礼申し上げます。



山口法律関連士業ネットワーク定期大会について

広報部長 渡邊満洲生

1. 日 時：平成14年7月2日(火)午後3時
30分から午後6時
2. 場 所：山口市湯田温泉二丁目「ホテルニュータナカ」
3. 参加士業：

団体名	定期大会	講演会	懇親会
山口県弁護士会	5	6	6
山口県行政書士会	6	6	4
山口県司法書士会	5	5	6
山口県社会保険労務士会	14	14	13
中国税理士会山口県支部	33	33	30
山口県土地家屋調査士会	9	9	9
山口県不動産鑑定士協会	7	7	7
日本公認会計士協会	3	3	3
弁理士会中国四国部会	1	1	0
来 賓	0	0	8
計	83	84	86

4. 大会の内容：今年度の担当会の中国税理士会山口県支部の司会で開会され、昨年度担当会の山口県社会保険労務士会の村田拓代理事が挨拶を行った。

司会者が各士業の理事の紹介を行い、併せて弁理士会中国四国部会が今年入会する予定である旨を報告した。

次に今年度担当会の中国税理士会山口県支部の河村正治理事の挨拶があった。

河村理事が議長となり、

- ①平成13年度事業報告及び決算報告
- ②平成13年度監査報告
- ③平成14年度事業計画及び収支予算書の説明を行い、了承された。

定期大会は、以上で終了した。

引き続き、講演会となり財団法人山口

経済研究所の有吉宏樹常務理事が「どうなる山口県経済」と題して約1時間30分にわたり、分かりやすく現状分析され、説明をされた。

午後6時、定時大会及び講演会が終了し、懇親会が開催された。

来賓として山口市長合志栄一氏、山口県議会議員亀永恒二氏、山口商工会議所会頭中野勉氏、他5名の参加があり、各士業間の交流に花を添えた。

懇親会は約1時間30分で終了し、「山口法律関連士業ネットワーク」の今後益々の発展を期し、散会した。



境界鑑定委員会が活動を開始

広報部長 渡邊満洲生

平成14年7月24日(水)境界鑑定委員会が開催され、委員の役職が決まりました。

1. 委員のメンバー(5会員)

林 弘(委員長)	徳山支部
打越 充浩(副委員長)	下関支部
山崎 耕右	山口支部
小嶋慎一郎	山口支部
難波 文雄	岩国支部

2. 今後の運動方針

境界鑑定委員会規則(平成14年1月18日制定)により、今後は登録会員の基準や境界鑑定講座の開催などを考慮に入れ、また他会との意見交換を行いながら、よりよい方向で実施していく方針です。

3. 林 弘境界鑑定委員会委員長の就任コメント

先日の第1回土地家屋調査士会境界鑑定委員会にて、各委員の互選の結果、委員長は総会、理事会、業務部との連携がとれた人が良いという



理由で業務部に配属中の私に白羽の矢が立たちました。まさに青天の霹靂であり想像もしてない出来事でした。

しかし、お引き受けしたからには、社会から求められている事を追求し、会員のみなさまが後悔されないような境界鑑定委員会のみちしるべを作りたいと考えております。

若輩者ではございますが、御指導、御鞭撻よろしく申し上げます。

役員推薦委員会の報告

広報部長 渡邊満洲生

8月28日(水)開催された役員推薦委員会で、委員長に松田昌祐会員(徳山支部)、副委員長に鶴巻栄一会員(宇部支部)が就任いたしました。

次回は、本年10月に開催の予定です。



囲碁大会の報告

山口支部 渡邊満洲生

平成14年度の親睦囲碁大会が下記のとおり開催されました。

1. 日 時： 平成14年 8月25日(日) 午前9時30分～午後4時
2. 場 所： 山口県司法書士会館
3. 参加者： 11人
4. 成 績：
 - 優勝 5勝0敗 石田 正勝 五段
(法務局 宇部支局長)
 - 準優勝 4勝1敗 渡邊満洲生 三段
(土地家屋調査士)

- 3位 3勝2敗 中川 洋二 初段
(民事法務協会)
- 4位 3勝2敗 加藤 芳昭 二段
(司法書士)
- 5位 3勝2敗 石田 豊 三段
(土地家屋調査士)

5. 内 容：

優勝した石田正勝五段(宇部支局長)は賢実な打ち回しで、参加した他の者を全然寄せ付けぬ程の圧勝でした。

このままだと、当分、石田正勝五段の連破が続きそうです。

他の参加者は、来年までに対策を考えておきましょう。



私の旅のスケッチ 「ニューカレドニアの島」

萩支部 廣石 勝

ヌーメア空港からプロペラ機に乗ること、20分で、ニューカレドニア南東のリゾート島であるイル・デ・パン島と言う島に着いた。

その島には、クト・ビーチと呼ばれる砂浜がある。その砂浜はパウダーサンドであり、白く透き通っていた。

訪れた時期は1月の終わりであったが、日本と反対の気候で、昼間は25度位の気温で暖かかったが、夕方は肌寒く感じた。

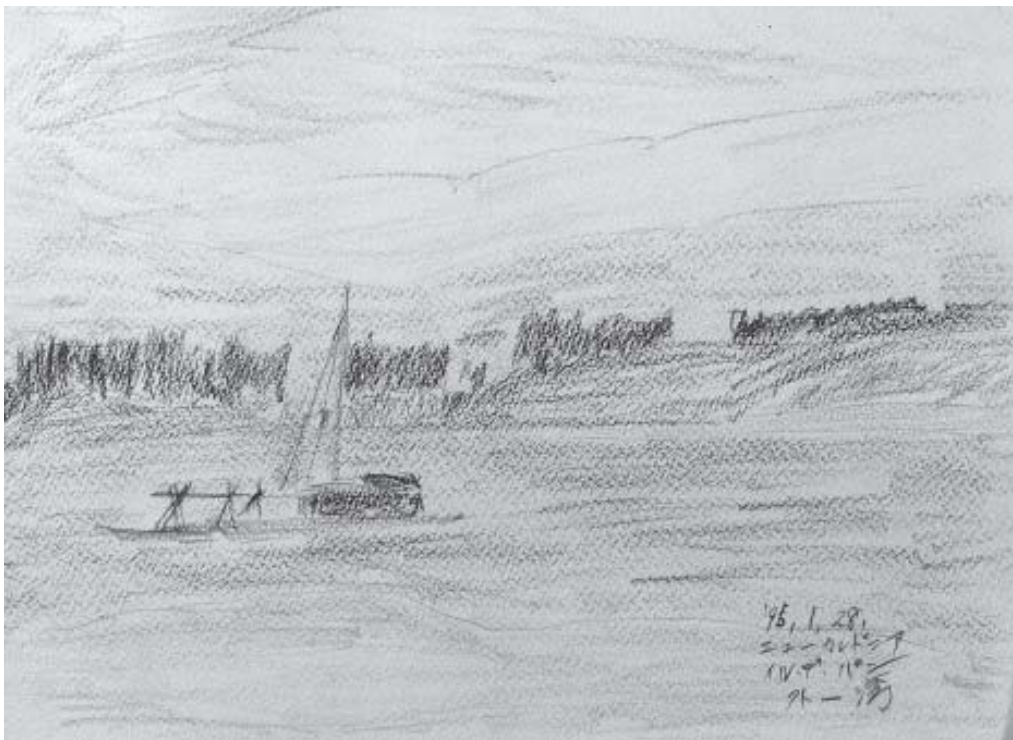
海水浴をする人も少なく、砂浜は静かであった。海水は透明度があり、気持ちよく泳ぐ

ことができた。しかし、泳ぐあたりには、魚は見かけなかった。

ひと泳ぎして、30メートル沖合いに錨を下ろしている日本では余り見かけない帆船をスケッチしたのだった。

素朴で、簡単な造りの舟であり、イカダのような前近代的な舟だった。大変、のどかな雰囲気にもまれていた。

これを、“地上の樂園”と言うのだろうか？満足！！



個人の正義は大局のまえでは抹殺される

岩国支部 中島 順一

数年前フィクションの小説を読んだ

内容は、北朝鮮が日本海にむけミサイルを打ち上げた。それを日米が協力して、ミサイルを誘導し日本領土の無人島に落とし、小規模の核爆発が起きた。それを契機に日米が北朝鮮に攻め込み北朝鮮が降伏して、新体制が誕生する。10年後北朝鮮は豊かな国に生まれ変わり、日本との過去の問題をすべて解決し友好国となった。北朝鮮のミサイルには、核を搭載していなかったが、米国の特殊部隊がミサイルが落ちたと同時に核を爆発させたのだ。それに気づいた新聞記者が発表しようとするが、日米の諜報員によって抹殺される。フィクションとは言え、読み終えて複雑な心境であった。新聞記者は真実を世界へ知らせようとした。日米は手段は悪いが結果は世界に安定をもたらした。規模の大小はあってもこれと似た状況が、現実にあるのではないだろうか。

例1 . 何十年か前に毎日新聞の西山記者？が女性公務員から資料を受け取り、日米との間で沖縄の件について「密約があった」と暴露した。時の政府は「密約はない」とした。最近アメリカの公文書が公開され「密約があった」と記されているが、川口外相は「密約はなかった」と発表した。100年後には「密約はあった」と訂正されるのだろうか。今は反響が大きいから認めることはできないのだろうか、葉害エイズも同じで当時の厚生省は資料はないとした

が、管厚生大臣となり認めることとなった。

例2 . 国会議員は日本国を豊かにするため政治をしなければならない。あたりまえである。しかし現実特定団体(組織)のためだけに政治をしているとしか思えない。したがって国民は自分に有利になるよう特定団体(組織)を作ろうとする。本来は 団体とか 陳情団とかなくても国会議員は日本のため政治をしなければならない。そうでないため鈴木議員のような人がでるしミニ鈴木は沢山いるはずである。

例3 . 日本は談合国家であり大も小もみんな業者は談合をやっている。新聞等に談合情報がよせられると発注者は調査の結果その様な事実は認められなかったと発表し一件落着である。談合がなくなれないということは、必要だからなくならないのであってシステムを変える必要があるのではないのか、要は大局的にみて税金の無駄遣いをしないという視点から考えたらどうだろうか。自分の事しか考えない世の中になってしまったのか。

例4 . 雪印食品に始まり、 農協、協和、東京女子医大がカルテ改ざん、佐世保重工……みんなウソばかり、これは全部内部告発である。正しい事をしたと思い内部告発した本人の将来は、身分はどうなるのであろうか。魚

沼産コシヒカリ生産量に比べ販売量が数十倍と聞く、鹿児島産の黒豚も同じと当局は知っていて取り締まろうとしない。国民は何を信じたらよいのだろうか。

私は自分なりに結論をだした。

あまり人生まじめに考えてはいけない。「ウソも方便である」校長先生が天井裏から女性の部屋をのぞく世の中である。

国家の言う事をうのみにしてはいけない。過去の例からわかるとおり、都合の悪いことは発表しないしウソを言う。

権力には逆らわない。特に国家権力には逆らわない。日本は自由社会といいながら官僚の天下である。何でも許、認可、規制である。昔から日本には役人を「お上」と称し、たてまつる風潮がある。又官僚はつけあがり誤りを認めない。

個人の正義は大局のまえでは抹殺される。倫理道徳からみて正しいことも、国家利益、集団利益のためには、無視され迫害される「でる杭は打たれる」「大きいものにはまかれる」「正義が勝つとはかぎらない。」

という、感受性が強いのか無知なのか、世の中の仕組みがわからない私でした。



追) ガイドと旅行者がザイルにつながれ登山をしていた。旅行者が足を滑らし2人共、崖に宙吊りとなった。このままではザイルが切れ2人共死ぬ。この時ガイドがザイルを切断し自分は谷底へ、旅行者は助かった。これを聞き人間誰しも感動するのではなかろうか。私にはできないが、そのような人生を送りたい。うらを返せば神をおそれぬ不屈きものには天誅がくだるであろう。



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	氏名(生年月日)	入会年月日	事務所	TEL	FAX
	たけだ じゅんいち 竹田 順一 (S51.8.13)	H14.5.1	〒759 6121 豊浦郡豊北町大字神田上 2683の5	(0837) 88 0378	(0837) 88 0379
	きむら ひでひろ 木村 秀洋 (S30.7.19)	H14.7.22	〒751 0883 下関市大字田倉534の2	(0832) 57 2117	(0832) 57 2117

2. 会員脱会状況 なし

3. 事務所住所変更

支部	氏名	変更年月日	変更事項	変更内容	TEL	FAX
宇部	鶴巻栄一	H13.10.29	住所	〒755 0058 宇部市浜田1丁目13 7(住居表示)		
		H14.6.3	事務所	〒755 0032 宇部市寿町1丁目3 26	(0836) 37 4144	(0836) 37 4154
徳山	三浦隆	H13.11.1	事務所	〒745 0302 都濃郡鹿野町大字鹿野上2844の1	(0834) 68 3612	(0834) 68 3630
山口	三崎友紀	H14.4.21	事務所	〒753 0831 山口市大字平井626の2		
山口	渡邊一正	H14.4.27	住所	〒753 0011 山口市大字宮野下1165の2		
山口	平岡真二	H14.5.3	事務所	〒753 0045 山口市黄金町4 14		(083) 924 6133
下関	藤山政志	H14.6.26	事務所	〒750 0314 豊浦郡菊川町大字上田部972の3	(0832) 87 3653	(0832) 87 3653
下関	日比野浩之	H14.7.1	事務所・住所	〒750 0087 下関市彦島福浦町1丁目24 25	(0832) 61 5645	(0832) 61 5646
下関	磯部豊盈	H14.7.1	事務所	〒752 0993 下関市長府浜浦町31 41		
宇部	西村勲	H14.8.19	住所	〒756 0063 小野田市大字東高泊2の8		

4. TEL・FAX等変更

支部	氏名	変更事項	変更前	変更後
山口	乗原堯	FAX	(083)924 0558	(083)932 1333
山口	小嶋慎一郎	メールアドレス	48kojima@joho.yamaguchi.or.jp	kojima48@k5.dion.ne.jp

会務報告

開催日	会 務	場 所
14. 4月1日(月)	「4月1日表示登記の日」登記無料相談	県 下 9 会 場
4月5日(金)	新年度挨拶	山 口 地 方 法 務 局
	正副会長会議	調 査 士 会 館
6日(土)	YTG (親睦ゴルフ大会)	厚 狭 郡
10日(水)	広報部会	調 査 士 会 館
15日(月)	財務部会	調 査 士 会 館
17日(水)	近畿ブロック協議会研修会	大 阪 市
18日(木)	法・司・調三者協議会	司 法 書 士 会 館
19日(金)	研究室会議	調 査 士 会 館
	正副会長部長会議	調 査 士 会 館
22日(月)	監査会	調 査 士 会 館
	広報部会 (会報編集会議)	調 査 士 会 館
24日(水)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 県 林 業 会 館
25日(木)	第1回 理事会	調 査 士 会 館
26日(金)	防府支部総会	防 府 市
	山口県弁護士会新役員披露パーティー	ホ テ ル ニ ュ ー タ ナ カ
30日(火)	広報部会 (会報編集会議)	調 査 士 会 館
5月10日(金)	法務局訪問 (挨拶)	山 口 地 方 法 務 局
15日(水)	広島法務局訪問	広 島 法 務 局
21日(火)	定時総会打合せ	調 査 士 会 館
22日(水)	司法書士会 定時総会	山 口 グ ラ ン ド ホ テ ル
24日(金)	調査士会 定時総会	ば る る プ ラ ザ 山 口
29日(水)	行政書士会 定時総会	ば る る プ ラ ザ 山 口
	中国ブロック協議会会長会議打合せ	調 査 士 会 館
31日(金)	中国ブロック協議会 会長会議	山 口 グ ラ ン ド ホ テ ル
6月1日(土)		
5月31日(金)	中国ブロック 釣り大会	萩 市 見 島
6月1日(土)		
5日(水)	正副会長会議	調 査 士 会 館
	業務部会	調 査 士 会 館
7日(金)	萩支部総会	萩 市
8日(土)	九州ブロック協議会 定例総会	沖 縄 県
	下関支部総会	下 関 市
	岩国支部総会	玖 珂 郡 由 宇 町

会務報告

開催日	会 務	場 所
14. 6月14日(金)	宇部支部総会	宇 部 市
	徳山支部総会	徳 山 市
15日(土)	山口支部総会	調 査 士 会 館
20日(木)	中国税理士会 定期総会	山 口 グ ラ ン ド ホ テ ル
21日(金)	} 日調連 定時総会	東 京 都
22日(土)		
26日(水)	総務・財務・広報部合同会議	調 査 士 会 館
7月2日(火)	山口法律関連士業ネットワーク定期大会	ホ テ ル ニ ュ ー タ ナ カ
	中国ブロック協議会定例総会打合せ	山 口 グ ラ ン ド ホ テ ル
4日(木)	} 中国ブロック協議会定例総会	山 口 グ ラ ン ド ホ テ ル
5日(金)		
9日(火)	第2回 理事会	調 査 士 会 館
10日(水)	県用地課及び法務局登記部門との協議会打合せ	防 府 市
16日(火)	総務・財務合同会議	調 査 士 会 館
18日(木)	政治連盟顧問委嘱のお願い	下関市、萩市、徳山市、岩国市
19日(金)	本部業務部と支部企画委員との協議会	調 査 士 会 館
24日(水)	境界鑑定委員会	調 査 士 会 館
26日(金)	} 近畿ブロック協議会 定例総会	滋 賀 県
27日(土)		
29日(月)	本部研修会打合せ	調 査 士 会 館
8月2日(金)	本部研修会	調 査 士 会 館
6日(火)	中国ブロック協議会 会長会議	岡 山 市
12日(月)	広報部会	調 査 士 会 館
	法務局訪問	山 口 地 方 法 務 局
23日(金)	公嘱協会 通常総会	ば る る プ ラ ザ 山 口
25日(日)	司調共催囲碁大会	司 法 書 士 会 館
26日(月)	三者協議会打合せ	調 査 士 会 館
	法・司・調三者協議会	調 査 士 会 館
28日(水)	役員推薦委員会	調 査 士 会 館
	会報編集会議	調 査 士 会 館
30日(金)	業務部会	調 査 士 会 館
	公嘱協会との協議会	調 査 士 会 館
31日(土)	YTG(親睦ゴルフ大会)	美 祢 市
9月1日(日)	9月1日「杭の日」無料相談会	県 下 4 会 場
3日(火)	神奈川会 研修会	神 奈 川 県

広報部からのお知らせ

1. 本会の親睦行事として、本年度は岩国地区の史跡めぐりを実施することになりました。会員、家族、補助者多数の参加をお待ちしております。

【概要】

ロマンを求め時代を見つめる。と題して、次のような企画をしました。

大正ロマン女人の扮装や岩国が生んだ剣豪佐々木小次郎に扮して、錦帯橋をゆっくり渡ります。終日その服装で錦帯橋周辺の史跡探訪をします。男性も着流しを10名程度用意します。タイムスリップすること請け負います。

岩国鉄砲隊の月1回の砲術訓練をわざわざ調査士会の史跡めぐりの日に変更してもらいました。砲術を披露して歓待を受けます。

昼食は岩国支部会員総出で、過去の史跡めぐりで大好評の岩国寿司とにしめで歓迎します。昼食後は国家的プロジェクトである愛宕山総合開発、基地沖合移設工事の進行状況を現場の山頂より見学します。

その他支部会員が思わぬ歓迎をすることもあります。

【日程】平成14年10月19日(土)

(新幹線利用者)新岩国駅集合

9時01分と9時27分着がある

人数によってはタクシーを利用する。チケット配布。場合によっては会員の自家用車で送迎

9:40 (乗用車利用者)錦帯橋下流の河原駐車場

開会式、案内図配布

調査士会の幟を林立させ、目立たせる。道中幟を持って歩く。

参加料徴収。

着物着付け

桜工房(着付け会場、岩国2-3-28)まで案内する。車で送迎して時間節約

着付けに要する時間は一人約15分。

参加者は自分のたび、下駄(販売する)を各自用意する

着付けの終わった人から順次送り出す。錦帯橋岩国側へ

9:50 史跡探訪スタート

9時50分に錦帯橋渡り始め。ロープウェイ駅まで

途中、香川家、墓所、目加田家、白蛇を時間配分を巧くして、見学する。

錦帯橋の第3橋で海老崎棟梁の解説

11:00 岩国鉄砲隊集結、行進開始

11時に、鉄砲隊はロープウェイ駐車場に集結し、錦城橋上河原に向け行進開始

11時15分頃砲術訓練開始。8発射撃。所要時間約40分

錦城橋上駐車場にバスを待機。12時頃柱野へ出発。

12:30 昼食(柱野)

岩国寿司としめの大宴会。約1時間30分

3時に次の会場に到着するように出発。

3:00 愛宕山開発現場

最初に事務所でビデオ説明を受け、バスで現場内見学。ハイヒールでもOK

予定所要時間は約1時間30分

5:00 解散(錦帯橋河原)

5時頃解散。自由時間

2. 約18年間広報部で活躍したカメラをオークションに出したところ、戸倉茂雄徳山支部長が落札いたしました。
会員皆様のご協力ありがとうございました。
3. 日調連公報誌「土地家屋調査士」9月号の異色調査士のライフスタイルのページで、岩国支部中島順一会員を紹介していますので、ぜひご覧下さい。

発 行 山口県土地家屋調査士会
〒753 0042 山口市惣太夫町2番2号
電 話 (083) 922 - 5975
F A X (083) 925 - 8552
ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~yamatyo/>
Eメール yamatyo@orange.ocn.ne.jp
振 替 01590 - 5 - 11085
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 瀬口 潤二
広報担当副会長 三好 一敏
広 報 部 長 渡邊満洲生
理 事 坂本 敬子
" 廣石 勝
" 藤本 精二
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www1.ocn.ne.jp/yamatyo/>
Eメールyamatyo@orange.ocn.ne.jp